

		チェック項目	境			改善目標、工夫している点など
			はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・療育スペースの他に個室・静養室があり、利用者の状態に応じて使い分けをしています。また、密を避けるため人数が分散できるように努めています。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1		・職員配置基準は満たしていますが、少ないと感じることもあるので事前に配慮したり、職員の立ち位置など工夫しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		・床は全面フラットですが、療育スペースには、安全マットを敷いています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	6	1		・振り返りの時間を設け、問題点や改善点を話し合い、全職員が統一した支援が行えるよう努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		・毎年アンケートを実施し、ニーズに応えられるよう業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		・結果を書面にて保護者へ配布し、ホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	4	・現在、実施していません。必要に応じて検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		・研修に参加できるよう、職員体制の調整に努めています。しかし、職員体制上、難しさもあり、オンラインによるセミナーなどは積極的に参加し、職員の資質の向上に努めています。また、職員が資格を取得できるよう、調整に努めています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	6	1		・保護者のご要望と利用者の状態をマッチングさせながら作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4		・事業所内のアセスメント表を使用し、利用者の状況把握に努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2		・利用者の状況、またはニーズに合わせ、活動内容の見直しを行い、職員で意見を出し合いプログラムの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		・毎月、活動内容、制作内容を話し合い、固定化されないよう努めています。特に、長期休暇等はお預かりする時間も長いので、経験値を増やせるよう外出イベントなどを増やし、社会性を学べるよう工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3		・一人ひとりに応じた課題を提供しています。また、ご家庭からの持ち込み課題にも対応しています。 ・学校からの宿題にもできる限り対応しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成しているか	7			・利用者の状況と保護者の要望を総合的に判断し、個別支援計画書を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・支援開始前には必ず職員間でミーティングを行い、利用者についての注意点、支援内容、その他留意点などを確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		・全職員での振り返りは難しいですが、毎回必ず行っています。注意点や気付いた点は話し合い、情報は共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・毎日サービス提供記録(連絡帳)を作成し、その日の利用者の状態や支援内容について記録し、検証・改善につなげています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・半年に1度、モニタリングを行い、個別支援計画書を作成していますが、利用者の状態が変わった場合など、支援内容の見直しを行い、支援にあたっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	2		・日常生活動作や創作活動、余暇活動を組み合わせながら支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		・管理者または児童発達管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			・学年の先生または担任の先生と一緒に下校してくるので、その際に聞き取り確認しています。利用者のみで下校してくる学年もあるため、様子がいつもと違う場合などは必ず先生に確認しています。 ・毎月利用予定表の提出もしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		7		・現在、医療的ケアの必要のある利用者がいません。今後対応する際には主治医等と連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5	2	・直接のやり取りはありませんが、相談支援員を通して情報を共有しています。必要に応じて対応します。
	24	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5	1	・移行先からの情報の提供を求められた場合、必要に応じて対応します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1	・毎月、おたよりを配布した際にお話しさせていただいています。研修等があれば積極的に参加します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	4	・現在、コロナ感染の心配もあり、活動機会はありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	3	・協議会等があれば積極的に参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・保護者とのコミュニケーションを大切にしています。送迎時にサービス提供記録表(連絡帳)にて、利用者の様子を細かく伝え、また、ご家庭での様子などを聞き取りし、発達状況や課題について共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	2	・行えていませんが、保護者の不安や悩みが少しでも軽減できるよう相談に応じています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・丁寧な説明を心がけています。また、不明な点がある場合は、いつでもご連絡いただけるようお伝えしてしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・日頃から保護者の不安や悩みなど気軽に相談できる環境づくりに努めています。また、相談があった場合は不安を取り除けるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	4	・現在行っていません。今後必要に応じて検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・苦情窓口を設置しています。苦情があつた場合には内容を記録し、迅速かつ適切に対応できるよう職員間で情報を共有し、真摯に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・毎月おたよりや活動予定表を発行し、保護者及び他事業所にも発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			・お便り等の個人情報掲載については保護者からの同意を得たうえで掲載しています。市町村等へのおたよりの発行には、個人が認識できないように顔を伏せたものにし、名前や誕生日等の掲載は一切していません。 ・個人情報書類は、鍵のある書庫にて流出することのないよう注意しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・連絡帳または写真カードや手話、ジェスチャーなどで意思疎通を図っています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	4	・現在行っていません。今後は地域に貢献できるような活動や、地域で行っているイベントへの参加など検討しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			・マニュアルを作成し、毎年度、全職員・保護者に配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・年に2回以上、災害を想定した訓練を行っています。自然災害が増えているため、定期的に訓練を行い、全利用者が必ず1回以上参加できるよう調整しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・全職員、虐待・身体拘束について共通理解できるよう施設内研修や県で行っているオンライン研修を利用し、定期的に研修機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			・安全を考慮し、状況・状態に応じ、やむ負えず身体保持を行う可能性のある利用者には、事前に支援計画書へ記載し、説明を行い、承諾を得ています。また、行った際にはサービス記録表に記載し、保護者に説明したうえで押印をもらうよう対応しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			・アレルギーの有無について、確認しています。医療機関でのアレルギーの結果を保護者より提供頂き、結果を基に対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・事案が発生した場合、ヒヤリハットを作成しています。また、情報を共有し、再発防止に努めています。